

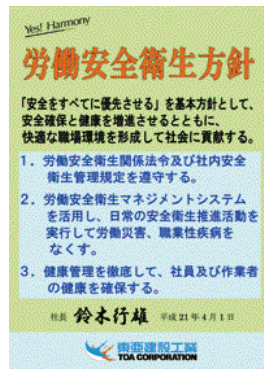
労働安全衛生マネジメントシステム

TOAグループの安全衛生に関する取組みは、「人間尊重」という崇高な基本理念のもと「安全をすべてに優先させる」を基本方針として、安全確保と健康を増進させるとともに、快適な職場環境を形成して社会に貢献することを使命としグループが一丸となって推進しています。

労働安全衛生方針

建設業における労働災害は、長期的に減少傾向を続けています。しかし、今後さらにこの減少傾向を継続していくためには、自主的かつ組織的な安全衛生管理の推進が不可欠です。

このような背景から、東亜建設工業労働安全衛生マネジメントシステム（TOHSMS）を2002年4月より導入しグループ全社に展開しています。TOAグループがこの厳しい経営環境のなかを生き残っていくためには、労働安全衛生水準をより向上させることが不可欠であることを再認識し、危険・有害要因を排除するためリスクアセスメントを計画から施工段階に至るまで確実に実施し、労働安全衛生マネジメントシステムを効果的に運用して継続的・組織的に労働災害防止活動に取り組みます。

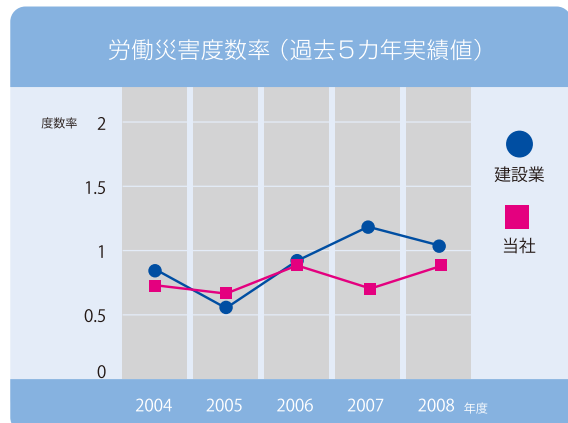


麹町4丁目計画新築工事における基礎工事用機械の転倒災害に伴う再発防止への取組み

当社首都圏建築事業部が施工する工事現場において、2009年4月14日午前11時過ぎ、基礎工事用掘削機であるアースドリル機が路上に転倒する事故が発生し、現場付近を歩行中の男女各1名、通行車両に乗務していた3名、当該重機オペレーター1名の合計6名が負傷（うち歩行者である女性はその後死亡）するという、当社にとりましては、これまで経験したことのない大変大きな公衆災害を引き起こす結果となりました。故人のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました方々には大変申し訳なく深くお詫びいたします。また、周辺住民の方々をはじめ関係者の皆様には大変なご不便とご心配をおかけし、誠に申し訳ありませんでした。当社は事故発生以降、被災者対応、災害原因の究明および再発防止策について関係当局のご指導を仰ぎながら取り組んでまいりました。今後も、『二度と同種災害を繰り返さない』ために万全を期してまいりますので、関係各位のご理解とご協力をお願いいたします。

さらなる度数率低下を目指して

過去5か年の労働災害度数率の当社実績値（休業4日以上対象）は、総合建設業の年平均値とほぼ同様に推移していますが、5か年安全衛生管理計画の目標値 0.60 以下の達成に向け、さらなる努力を継続しています。



※労働災害度数率：延べ実労働時間100万時間当たりの労働災害による死傷者数の比率。この値が小さいほど、労働安全が保たれていることを示しています。

AED（麹町消防署の救命講習に参加）

普通救命講習会を麹町消防署（東京都千代田区）の協力を得て開催し、34名が受講しました。

今回、本社ビルに勤務する従業員から選ばれた受講者は、AED（自動体外式除細動器）の使い方、心肺蘇生法、止血方法などの実技講習を受けました。

人命救助の必要性から、平時でも「お互いの命を守る社会づくり」に貢献できよう、社内はもとより近隣住民が遭遇する緊急事態に備え、本社ロビーにAEDを設置し、人命救助の対応措置が図られるようにしています。

